

CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都薬科大学 躬行館	階数	地上5F地下1F
建設地	京都府京都市山科区御陵中内町3-	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、近隣商業地域、準	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年2月 予定	評価の実施日	2008年8月25日
敷地面積	22,545 m ²	作成者	日建設計
建築面積	2,669 m ²	確認日	2008年8月23日
延床面積	11,334 m ²	確認者	小山 永佑



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.1)

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 3.4)

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 既存建物との調和		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 トップライトによる光の取り入れ	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 補修間隔の長い内外装材の使用	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 既存樹木の保存
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 トップライトからの光による自然エネルギーの直接利用 講義室、食堂などの窓際照明は照度センサーによる調光を行い消費電力の削減をはかる。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 再利用可能なユニット部材の使用	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 広告物照明の使用なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される